

全部が会員拡大・署名目標の達成

県本部 拡大常任理事会開催



和歌山県版
No.390
2024.2.15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
和歌山県本部
☎ 640-8348
和歌山市吉田 102
国労会館 2階
FAX : 073 (422) 7076

<https://wakayama.exblog.jp>
email:chian_gisei
sya@yahoo.co.jp



私たちの運動の基本

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
 - 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認めること。
 - 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。
- ふたたび戦争と暗黒政治を許すな

1月13日、和歌山市内で第2回県本部常任理事会(拡大)を開催しました。

鶴田至弘県本部会長より挨拶のあと、署名運動の到達点、会費納入状況、会員拡大、財政報告等について南條佳弘事務局長より報告がありました。

また、3月16日(土)の学習会について、各支部で参加者の取り組みを強めていくようにとの報告もありました。

橋本・伊都支部

支部長が交代しました。新支部長から、署名目標850筆・支部機関紙の年2回発行に、会員拡大もがんばっていく。

那賀支部

会員訪問をしているが、会費の話が先になり、署名については後になってしまう。

9条の会で書名を訴えたところ50筆が集まった。

和歌山東支部

機関紙不屈の仕分け時に、署名用紙・会費振込用紙にお願い文を入れてアピールし届くようにしている。

和歌山北支部

組を組んで会員回りをして会費の納入に努めている。ある労組には毎年署名の取り組みをお願いしている。本年は、団体書名14・個人書名101筆をもらった。会員外の方も7名ほど参加してくれている。

和歌山西支部

共産党支部へ要請した結果、同支部からも署名が届けられた。会員拡大の取り組みでは、2千円で入ってもらえる方へも呼びかけようかと思っている。

海南・海草支部

3月末までに会員拡大5名、署名を一人10筆で支部として850筆を目指して頑張りたい。

日高支部

国賠カフェ・語る会を長年続けている。身近な方の、活動していく中での苦労話などを伺っている。

支部機関紙「不屈日高版」も毎月発行し353号を迎える。

西牟婁支部

会費納入1000円を何年も続けている。会員数も50名を下回らない様に頑張ること、日高支部にならって身近な活動家の経験等を聞く会を開いていきたい。会員拡大5名、署名1人10筆の目標とした。

最後に、鶴田会長より、会員拡大、署名活動で頑張ると共に、身近な人々の話を聞く会なども開いてゆこうと呼びかけて閉会しました。

西牟婁支部

今、こんなにか
思っています

1月13日の県本部常任理事会を受けて、今年度の課題をどうするかと、1月26日に西牟婁支部の事務局会議を開いた。

会費とカンパは完納したので、署名はとりあえず、まず事務局で100筆、しんぶん赤旗日曜版に折込もやってみようということと、会員拡大の対象者はいないかと相談をし、その場で電話やらで2名の入会。あとは目標の5名まで3人を増やそうと話し合った。

また、たまに何か楽しいことはいやろかということになり、ハイキングやら行事を考えようかとなった。

平和委員会などと相談をして映画などがよいのではと話し合って、2月に突入しています。あせることもないし、ポチポチやろかと、思っています。

(西牟婁支部長 芝峰進)

支那のついで

一言に新春

年明け早々の震災にあわれた方々にお見舞い申し上げます。
国民の生活を守る闘いを今まで以上に強める年にしましょう。

(和歌山東支部長 森田隆司)

一葉通信

鶴田至弘(国賠同盟・県本部会長)さんが『不屈』に新年の挨拶文(「正月はなぜめでたいのか」)を書かれています。私も毎年挨拶文を読むことをとて楽しみにしている一人です。

最近の私は免疫力が低下してきて突然病が襲ってきます。しかし、私よりも一回り以上もおなみのみない鶴田さんの思いこそ見習いたいのです。お励ましをえて病からの回復意欲を奮い立たせています。
(橋本・伊都支部 中田眞一)
(フェイスブックより)

一葉通信

不屈、時々読んでます

会員になっていますが、せと多に活動していません。年会費が高いなあと思うくらいです。

でも、祥賀谷悠さんの連載はいいなあと思えます。紀伊半島に原発を持ち込まないための運動がよくわかります。歴史を学ぶのにとってもいいです。

(龍神〈日高支部〉 赤石克子)

こだま

今年は元日早々能登地震。火災に津波と大災害。二日には航空機事故で、生々しい映像が報道された。岸田政権の目にあまる金権腐敗の実態。まさに波瀾万丈の「龍の年」幕開けとなった。◆そして

1月26日に第213通常国会が始まった。日本共産党の新しく委員長になった田村智子委員長は、同党議員団総会で今国会の焦点は、「自民党の金権腐敗の問題」「抜本的に転換する経済政策」そして、憲法無視の異常な軍事費増額や、沖縄辺野古基地建設強行の問題など、「戦争国家づくり」を何としても止めることだと訴えている。◆岸田内閣は、2022年12月にいわゆる安保3文書(国家安全保障戦略「国家安全防衛戦略」「防衛力整備計画」)を閣議決定した。これによって、日本が戦争する国へと大きく変わった。平和憲法をもつ日本が行く末を変える問題を、国会の審議も無く閣議決定で済ませるといふ岸田政権の、憲法無視の暴走を止めなければならぬ。(安保3文書については、本紙不屈県版で、昨年2月号、5月号の4回にわたって、鶴田至弘県本部会長が詳しく解説している)

《学習の頁》

日置川「原発」のころ

(連載 8)

祥賀谷 悠

世界が震撼・ソ連原発事故

チエルノービル原発事故(86年4月)

は世界を震撼させました。

日置川町原発反対協議会は5月6日、次のような要求書を町に提出します。

「ソ連原発の事故は全世界に大きな衝撃を与えている。この事故で原発の危険性は具体的な事実により明らかになった。原発が日置川町に設置された事故が起これば、町が全滅することは明らかだ。私達は町の推進計画に抗議し、即時中止を求める」

原発反対協議会は、2322人の署名とともに「原発誘致反対」の請願を提出しました。

これに対して原発推進の側も次のような陳情書を提出します。

「わが国の原発は世界一の技術を誇り

安全対策も二重、三重にして万全。若者が定着し、豊かな郷土実現への起爆剤として原発立地の速やかな推進を」

議会と漁協が推進へ転換

反対請願と推進陳情を受けた町議会特別委員会は、12月23日、会議を非公開にし、原発推進陳情を賛成4人、反対3人で採択します。翌24日に開かれた本会議で、委員長報告を可決、立地決議を賛成9人、反対6人で採択しました。

さらに翌25日には日置川漁協が臨時総会を開き、10年前の原発反対決議を白紙撤回することを決め、漁業者も原発推進へと舵をきりました。

町議会と漁協が原発推進へと転換したことで、日置川原発はまさに立地「前夜」となります。

白浜町長 田辺市長が注文つける

こうした動きに隣接する自治体から注文がつけました。原発予定地の市江と地続きの白浜町長は、「チエルノービルの原発の事故以降、白浜町民も安全性に對し不安を感じている。現段階では簡単に同意するわけにはいかない」と表

明。また田辺市長も、「田辺市は30キロの地点にある。最も重要である安全性に対する確認の結論が出されていないので慎重に対処していきたい」と述べた。チエルノービル原発の事故で危機感をもった推進派と、原発は危険との世論の高まりで勢いづく反対派と、二つの勢力の運動は新しいステージへと進んでいきます。

(次号へ)

訃報

橋本康司さん 87歳

橋本・伊都支部所属、橋本市城山台在住の橋本康司さんが2023年11月24日死去されました

谷口 幸男さん

日高支部所属、美浜町浜ノ瀬在住の谷口幸男さんが2024年1月11日死去されました

福原 清子さん 88歳

那賀支部所属、岩出市岡田在住の福原清子さんが2024年2月10日死去されました

謹んで哀悼の意を表します

『犠牲者名簿』
(第2冊から)
(54)

藤本 淳太郎

(ふじもと じゅんたろう)

本籍:和歌山県西牟婁郡

潮岬村(現:串本町)

1931年10月9日、新興教育研究所支部のメンバーと

して串本町で検挙され(24歳)、同年10月26日、和歌山地方裁判所検事局へ身柄送局されたが、起訴はされなかった。

西牟婁郡和深第一尋常高等小学校訓導(教諭)。

1928年和歌山師範学校卒業。

紀のくに歳時記散歩 12

紀のくに和歌山の歴史ある名所仏閣・碑などを気軽に散歩します。

高野山

(3)

小さし小さし金剛峯寺の甘茶仏

木田 千女

国宝の建物

現在、高野山には117の寺院があり、そのうち宿坊が52ヶ寺(51ヶ寺とする資料もある)と言われます。117寺の数倍の仏閣が立ち並ぶ一大真言密教の街です。その高野山で、国宝に指定されている建物は、壇上伽藍にある金剛峯寺不動堂と、金剛三昧院多宝塔(写真)の二棟だけです。



壮大な総本山の金剛峯寺も、度重なる火災で現在の建物は、1863年の再建とされます。国宝の金剛峯寺不動堂は、1198年(1197

年という説もある)落慶と言われます。高野山で一番古い建物です。

金剛三昧院多宝塔は、1223年の建立とされています。

その金剛三昧院多宝塔の側には、近年(1993年)に建てられた句碑がありました。句碑は、日本詩歌句会会長の

千年の杉のこえ棲む青高野 豊長みのものである。

話題の木 三鉢の松と石楠花

たまたまなのか、二つの国宝の建物の側にはそれぞれ話題の木があります。

壇上伽藍の不動堂の近くには、大師空海が「唐」からの帰国する港より投げたという「三鉢」(さんこい仏具)が届いた所と伝えられて人気の、「三鉢の松」(三葉)があります。観光案内をされている方によると今7代目の松との話でした。

金剛三昧院には、樹齢450年とも言われる石楠花の木があります(県天然記念物)。

魁然と金剛峯寺の切子灯籠かな 日野草城

(魁然=かいぜん すくれて大きなさま 漢語林)

(参考資料:きよくにの国宝 県立博物館 地名・俳枕必携)

(瀬戸 正男)